### purge

テーブルから指定した日付範囲のデータファイルを削除します。このコマンドを実行するには管理者権限が必要です。

#### 構文

purge from=yyyyMMdd to=yyyyMMdd TABLE\_1, TABLE\_2, ...

**from=yyyyMMdd**

削除対象の開始日付（開始日付を含む）をyyyyMMdd形式で指定します。

**to=yyyyMMdd**

削除対象の終了日付（終了日付を含む）をyyyyMMdd形式で指定します。

**TABLE\_1, TABLE\_2, ...**

データを削除するテーブルのリストをカンマ（,）区切りで指定します。クエリを実行するたびに既存データを削除し、新しいデータを入力したい場合に使用します。

このコマンドは、ログプレッソ・ソナーの起動オプションで -Daraqne.logdb.purge=enabled スイッチを追加した場合のみ使用できます。

ENT-3.10.2006.0-u2352以前のバージョンでは、テーブル名の間に空白があるとpurgeコマンドが正しく動作しません。

#### 使用例

2014年9月10日および2014年9月11日のsampleテーブルデータを削除

purge from=20140910 to=20140911 sample